



ベラルーシ共和国文化省特別派遣

ベラルーシ民族アンサンブル ラジミチ



水と緑の千年の都より、待望の初来日！

ヨーロッパの東部に位置し、かつては「白ロシア」と呼ばれたベラルーシ。

青き湖や世界遺産の森が広がる美しい天地から、民族アンサンブル「ラジミチ」が初来日！

色鮮やかな民族衣装を身にまとい、軽快な民族楽器の演奏と

美しい歌声のハーモニーが織り成す、詩情豊かなステージにご期待ください！

【出演者】

ベラルーシ民族アンサンブル
「ラジミチ」
(総勢25名)

【主な予定曲目】

〈ベラルーシ民謡〉
クバリンカ、私のベラルーシ、
片想い、2本の木、
ベラルーシの娘、月は輝く、
カーナ、誘惑
〈ロシア民謡〉
カリンカ、川のほとりで
他

| | | |
|----------------------------------|--------------|-------------------------------------|
| 2006. 6/19 (月) 2:00p.m./6:30p.m. | 中野サンプラザホール | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500【税込】 |
| 6/21 (水) 6:30p.m. | サンシティ越谷市民ホール | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500【税込】 |
| 6/22 (木) 6:30p.m. | 千葉県文化会館 | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500【税込】 |
| 6/23 (金) 6:30p.m. | さいたま市文化センター | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500・B席¥4,000【税込】 |
| 6/27 (火) 6:30p.m. | 習志野文化ホール | 入場料金/全席指定:¥5,000【税込】 |
| 6/29 (木) 6:30p.m. | 松戸・森のホール21 | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500・B席¥4,000【税込】 |
| 6/30 (金) 6:30p.m. | 君津市民文化ホール | 入場料金/全席指定:¥5,000【税込】 |
| 7/1 (土) 6:30p.m. | グリーンホール相模大野 | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500【税込】 |
| 7/4 (火) 6:30p.m. | 柏市民文化会館 | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500・B席¥4,000【税込】 |
| 7/5 (水) 6:30p.m. | 春日部市民文化会館 | 入場料金/全席指定:¥5,000【税込】 |
| 7/6 (木) 6:30p.m. | 川崎市教育文化会館 | 入場料金:S席¥5,000・A席¥4,500【税込】 |

チケットの予約・お問い合わせは

◇MIN-ON チケットセンター ☎03(3226)9999

チケットのお求めは

◇電子チケットびあ ☎0570(02)9988

☎0570(02)9966(コード:368-139)

◇e+(イープラス) <http://eee.eplus.co.jp/>(Vコマ&ケータイ)

◇サンプラザプレイガイド ☎03(3388)7906[6/19公演]

◇サンシティホールチケットセンター ☎048(985)1112[6/21公演]

◇さいたま市文化センター ☎048(866)3171[6/23公演]

◇習志野文化ホール ☎047(479)1212[6/27公演]

◇森のホールチケットセンター ☎047(384)3331[6/29公演]

◇君津市民文化ホール ☎0439(55)3300[6/30公演]

◇グリーンホールチケットセンター ☎042(742)9999[7/1公演]

◇柏高島屋 友の会 ☎04(7147)6255[7/4公演]

◇レコードショップ音楽堂 ☎044(222)3300[7/6公演]

■主催:MIN-ON、(財)松戸市文化振興財団(6/29公演のみ)、

(財)君津市民文化ホール(6/30公演のみ)

■後援:ベラルーシ共和国大使館



ベラルーシ民族アンサンブル「ラジミチ」

1979年、現在芸術監督を務めるウラジーミル・D・リブスキー氏によって、ミンスクに誕生。

1985年には、国民文化への功績が認められ

「民族アンサンブル(People's Ensemble)」の称号が授与された。

結成以来、1300回に及ぶコンサートを上演。数々のアルバムを発表している。

これまでにロシア、リトアニア、ウクライナ、ドイツ、ポーランド、スロバキア、ブルガリア、

イタリア、カナダ、韓国など、世界各国でコンサート・ツアーを行い、

庶民の中から生まれた民族アンサンブルとして、

ベラルーシの心を高らかに表現。好評を博している。

今回、初来日公演となる。



ベラルーシと「ラジミチ」について

服部倫卓

ベラルーシ共和国は、かつてソ連邦を形成していた15共和国の一つで、1991年末のソ連解体に伴い初めての独立を果たした新興国です。面積は日本の半分強、人口は980万人ほど。首都ミンスク市は、日本の仙台市と姉妹都市になっています。ベラルーシ人はロシア人やウクライナ人と同じく東スラヴ系の民族です。ベラルーシはロシアとポーランドの狭間に位置し、歴史的にこの両国から強い影響を受けてきました。

今回、このベラルーシから民族アンサンブル「ラジミチ」が初めて来日することになりました。「ラジミチ」というのは、9世紀頃までに現在のベラルーシ領の南東部に登場したスラヴ系部族の名前であり、このラジミチ族がクリヴィチ族、ドレゴヴィチ族と融合することにより今日のベラルーシ人が形成されたと考えられています。また、「故郷」を意味する「ラジマ」というベラルーシ語の単語があり、「ラジミチ」というアンサンブル名は、そのニュアンスも込めたものということです。

さて、「ラジミチ」のレパートリーは、ベラルーシ民謡を中心としつつ、兄弟民族であるロシアやウクライナの民謡なども多く取り上げています。そればかりか、種明かしをしてしまうとつまらないので、ここでは書きませんが、かなり大胆に外国の音楽を取り入れたステージを展開しているようです。民族アンサンブルが、他国の音楽を取り上げることに関しては、評価が分かれるところでしょう。私自身、ベラルーシの民族音楽こそを、より深く掘り下げてほしいという思いがないわけではありません。

しかし、見方を変えれば、そのような寛容性、大らかさこそが、ベラルーシ的とも言えるのです。自国の民謡を愛でると同じように、兄弟国の歌も慈しみ、まったくの異国の音楽さえ取り入れてしまう彼ら。そんな彼らのパフォーマンスを、我々も色眼鏡を取り払って、素直に楽しみたいものです。

服部倫卓(はっとり・みちたか)。

1998年から2001年にかけて在ベラルーシ日本大使館の専門調査員。現在、社団法人ロシア東欧貿易会に勤務。

著書に「不思議の国ベラルーシ—ナショナリズムから遠く離れて」、「歴史の狭間のベラルーシ」などがある。